

楽天リサーチ、「終活に関する調査」結果を発表

- 「終活」をする理由は「家族に迷惑をかけたくないから」が7割、
女性の「終活」意向がより高い結果に -

URL: <https://research.rakuten.co.jp/report/20180215/>

楽天リサーチ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：田村 篤司、以下「楽天リサーチ」）は、「終活に関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、2018年1月19日（金）から1月20日（土）の2日間、楽天リサーチに登録しているモニター（約230万人）の中から、全国の20代から60代の男女1,000人を対象に行いました。

■□ 調査結果概要 □■

■「終活」という言葉を聞いたことがある人は96.6%。「終活」の意向がある人は39.1%。女性の意向がより高い結果に

「終活」という言葉を知っているかを聞いたところ、「知っている」（78.7%）と「聞いたことはあるが、よく知らない」（17.9%）と回答した人の合計が96.6%となり、多くの人が「終活」という言葉を聞いたことがあることが分かった。

「終活」の意向があるかを聞いたところ、「分からない」（43.5%）と「はい」（39.1%）がほぼ同等の結果となった。「終活」の意向があると回答した人を性年代別に見ると、全体的に女性の方がより意向が高く（男性：41.4%、女性：58.6%）、年齢が上がるとその傾向が顕著になった。

■すでに「終活」を実施している人は1割未満

「終活」をする意向のある人に、すでに「終活」を実施しているかを聞いたところ、「予定はないが、時期が来たら始めたい」（76.5%）が最も高く、「近いうちに始める予定」（10.2%）、「実施している」（7.9%）、「実施する予定はない」（5.4%）となり、9割以上の人々が「終活」に対して何らかのアクションを起こしている、または起こしたいと考えていることが分かった。

■8割以上の人々が「エンディングノート」を認知。しかし「用意をしていない」人がほとんど

全員に「エンディングノート」を知っているかを聞いたところ、「知っている」（51.9%）、「聞いたことはあるが、よく知らない」（30.9%）となり、8割以上の人々が認知していることが分かった。

しかし、実際に「遺書」または「エンディングノート」を用意しているかを聞いたところ、「用意していない」と答えた人が「遺書」は90.0%、「エンディングノート」は86.0%となり、9割弱は手をつけていない結果となった。

「用意している」と回答した人にその方法を聞いたところ、「遺書」と「エンディングノート」とともに、「普通のノート」や「既製品・市販品」などアナログな方法で準備をしている人が比較的多かった。

■「終活」を始めたい年齢は4割以上が60代

終活実施者および実施予定者に、具体的に何歳頃に始めたいかを聞いたところ、「65～69歳」が21.6%で最も高く、「60～64歳」(20.5%)、「70～74歳」(18.1%)、「50～54歳/55～59歳」(6.2%)と続いた。60代が42.1%と最も多くを占めた。

年代別にみると、20～50代では60代で「終活」を始めたいという人が最も多く、60代だけは70代が最も多かった。

■「終活」をする理由は「家族に迷惑をかけたくないから」が7割以上

終活実施者および実施予定者に、「終活」をする理由を聞いたところ、「家族に迷惑をかけたくないから」が71.4%と最も高く、「病気や怪我、介護生活で寝たきりになった場合に備えるため」(48.6%)、「葬儀などの希望を家族に伝えるため」(38.9%)が続いた。

男女別に見ると、ほとんどの理由で女性が男性を上回り、項目選択個数の平均を見ると男性2.5個、女性3.2個と0.7個の差が出る結果となった。

■「終活」に対して「特に不安はない」と考えている人は3割強

終活実施者および実施予定者に、「終活」について不安に感じることを聞いたところ、「特に不安はない」と回答した人が35.4%と最も高く、「何から手をつけたら良いかわからない」(31.4%)、「自分の死後に希望通り物事が進むか不安」(22.4%)、「いつから始めるべきかわからない」(19.5%)が続いた。

■人生でやり残したことは「趣味」が3割強で最も高い結果に

終活実施者に、「終活」を通じて人生でやり残したと感じるものがあるかを聞いたところ、「趣味」が最も高く、35.5%という結果となり、続いて「子ども・孫の誕生や成長を見届ける」(22.6%)、「仕事」(16.1%)と続いた。「やり残したことはない」と回答した人も25.8%と高かった。

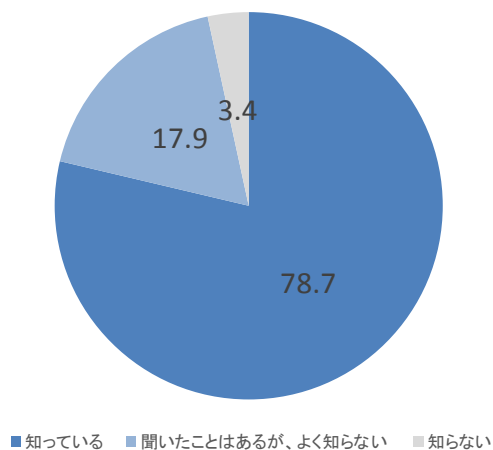
■□ 調査結果 □■

■「終活」という言葉を聞いたことがある人は96.6%。「終活」の意向がある人は39.1%。女性の意向がより高い結果に

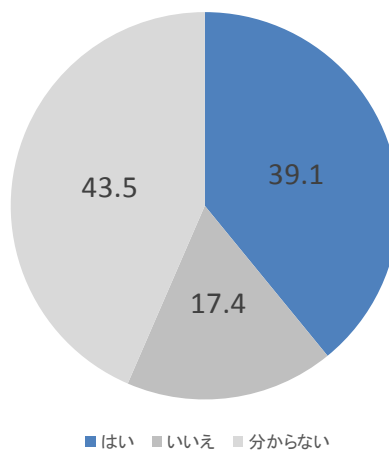
「終活」という言葉を知っているかを聞いたところ、「知っている」(78.7%)と「聞いたことはあるが、よく知らない」(17.9%)と回答した人の合計が96.6%となり、多くの人々が「終活」という言葉を聞いたことがあることが分かった。

「終活」の意向があるかを聞いたところ、「分からない」(43.5%)と「はい」(39.1%)がほぼ同等の結果となった。「終活」の意向があると回答した人を性年代別に見ると、全体的に女性の方がより意向が高く(男性:41.4%、女性:58.6%)、年齢が上がるとその傾向が顕著になった。

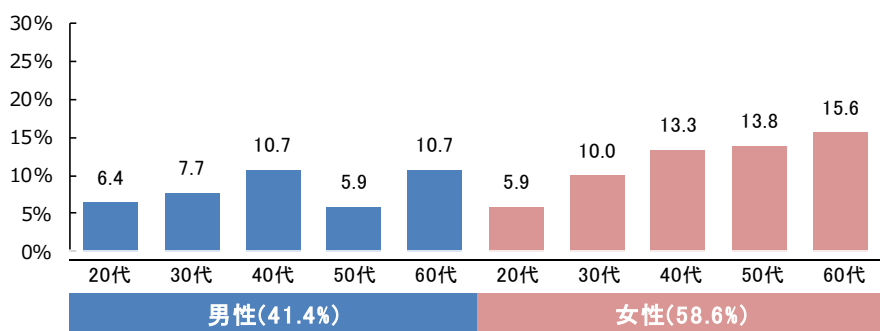
◇「終活」という言葉を知っていますか (n=1000) 単位:%



◇「終活」の意向がありますか (n=1000) 単位:%



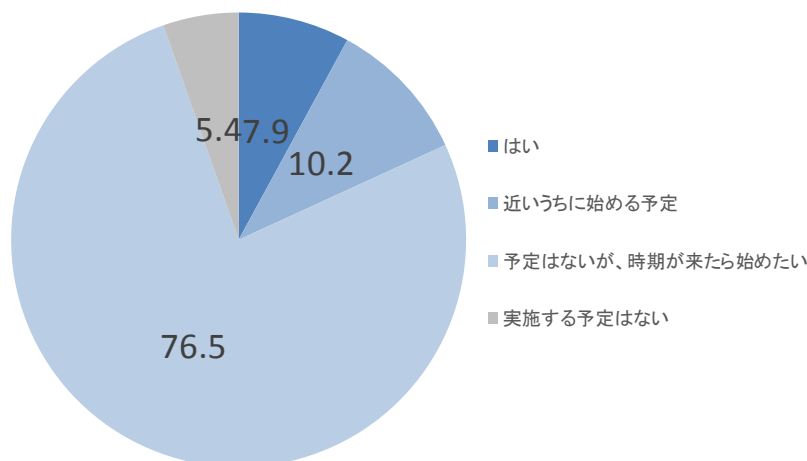
◇「終活」の意向者内訳 (n=391: 終活意向者) 単位:%



■すでに「終活」を実施している人は1割未満

「終活」をする意向のある人に、すでに「終活」を実施しているかを聞いたところ、「予定はないが、時期が来たら始めたい」(76.5%)が最も高く、「近いうちに始める予定」(10.2%)、「実施している」(7.9%)、「実施する予定はない」(5.4%)となり、9割以上の人々が「終活」に対して何らかのアクションを起こしている、または起こしたいと考えていることが分かった。

◇「終活」を実施していますか (n=391：終活意向者) 単位:%



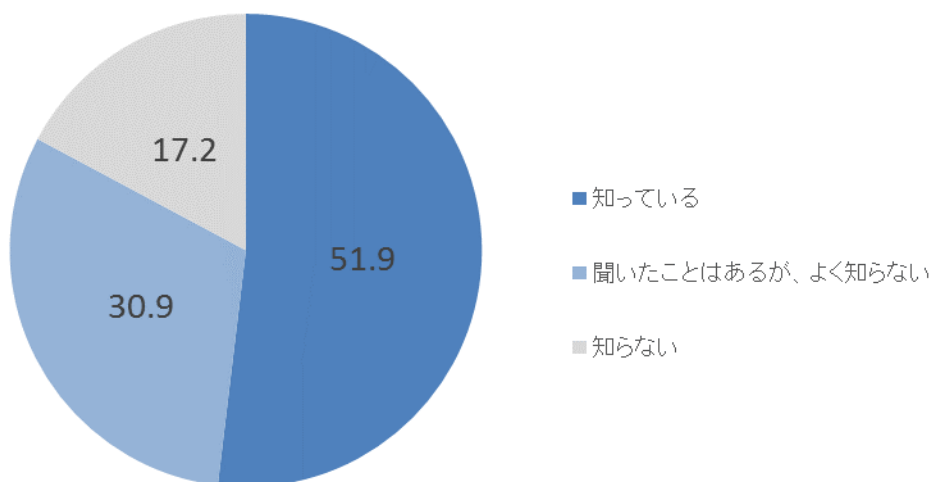
■8割以上の人「エンディングノート」を認知。しかし「用意をしていない」人がほとんど

全員に「エンディングノート」を知っているかを聞いたところ、「知っている」(51.9%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(30.9%)となり、8割以上の人認知していることが分かった。

しかし、実際に「遺書」または「エンディングノート」を用意しているかを聞いたところ、「用意していない」と答えた人が「遺書」は90.0%、「エンディングノート」は86.0%となり、9割弱は手をつけていない結果となった。

「用意している」と回答した人にその方法を聞いたところ、「遺書」と「エンディングノート」とともに、「普通のノート」や「既製品・市販品」などアナログな方法で準備をしている人が比較的多かった。

◇「エンディングノート」を知っていますか (n=1000) 単位:%



◇「遺書」または「エンディングノート」の準備方法 (n=1000) 複数選択 単位:%

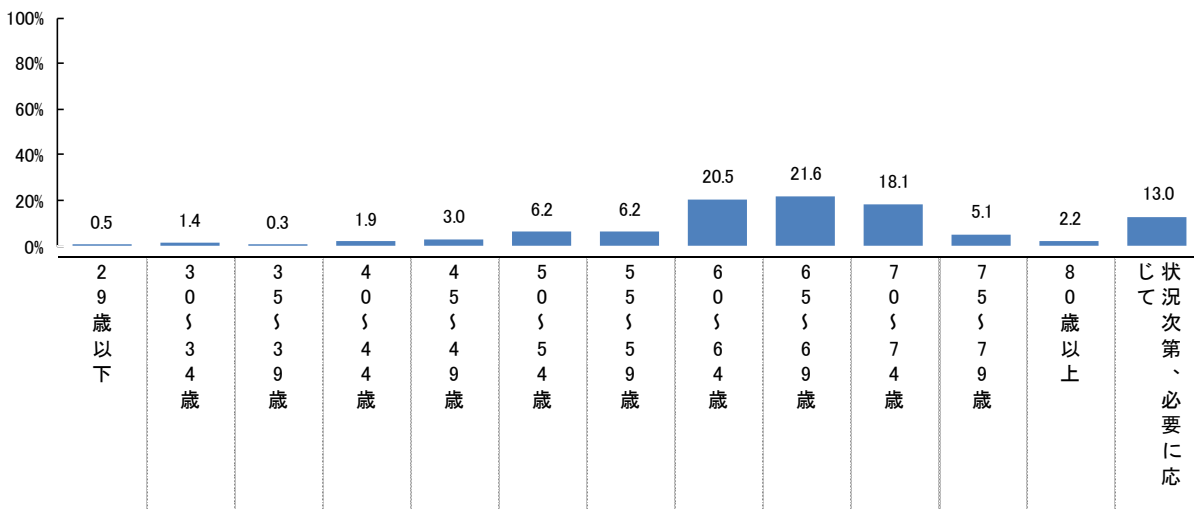


■「終活」を始めたい年齢は4割以上が60代

終活実施者および実施予定者に、具体的に何歳頃に始めたいかを聞いたところ、「65～69歳」が21.6%で最も多く、「60～64歳」(20.5%)、「70～74歳」(18.1%)、「50～54歳/55～59歳」(6.2%)と続いた。60代が42.1%と最も多くを占めた。

年代別にみると、20～50代では60代で「終活」を始めたいという人が最も多く、60代だけは70代が最も多かった。

◇「終活」を始めたい年齢 (n=370: 終活実施・実施予定者) 単位:%



◇【年代別】「終活」を始めたい年代 単位:%

終活を始めたい年齢

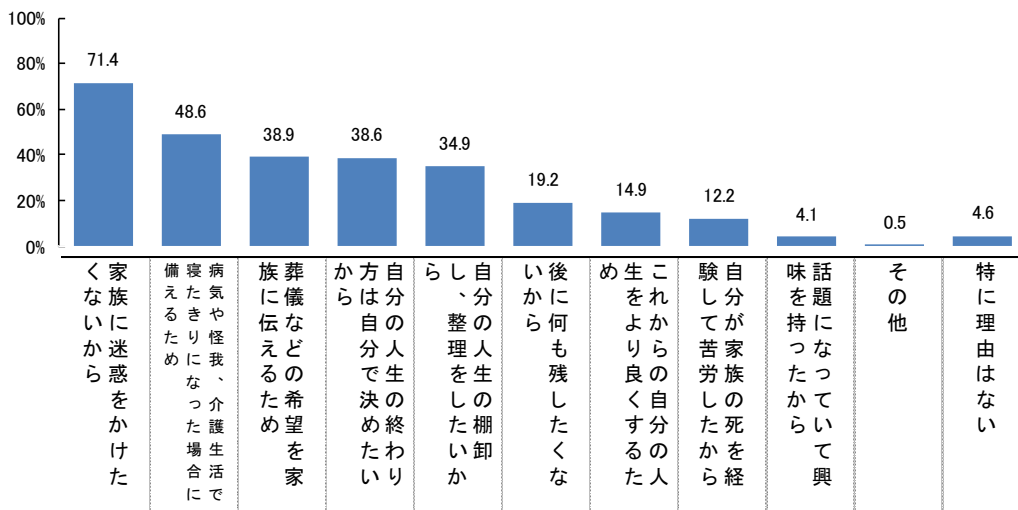
(%)	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	状況次第、必要に応じて
20代 (n=45)	4.4	2.2	4.4	13.3	51.1	8.9	4.4	11.1
30代 (n=60)	0.0	8.3	10.0	13.3	41.7	6.7	3.3	16.7
40代 (n=90)	0.0	0.0	11.1	15.6	45.6	15.6	0.0	12.2
50代 (n=74)	0.0	0.0	0.0	24.3	40.5	18.9	1.4	14.9
60代 (n=101)	0.0	0.0	0.0	0.0	36.6	49.5	3.0	10.9

■「終活」をする理由は「家族に迷惑をかけたくないから」が7割以上

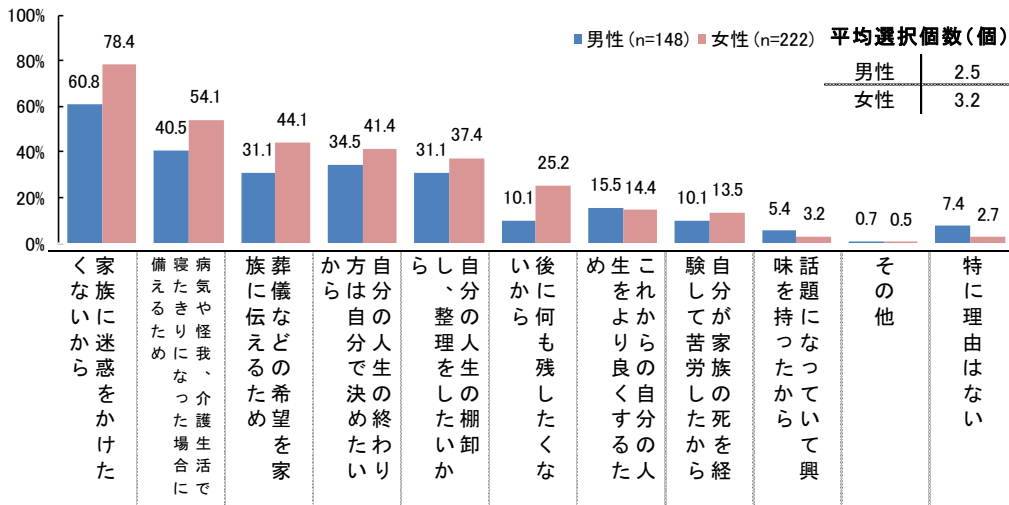
終活実施者および実施予定者に、「終活」をする理由を聞いたところ、「家族に迷惑をかけたくないから」が71.4%と最も高く、「病気や怪我、介護生活で寝たきりになった場合に備えるため」(48.6%)、「葬儀などの希望を家族に伝えるため」(38.9%)が続いた。

男女別に見ると、ほとんどの理由で女性が男性を上回り、項目選択個数の平均を見ると男性2.5個、女性3.2個と0.7個の差が出る結果となった。

◇「終活」をする(したい)理由 (n=370: 終活実施・実施予定者) 複数選択 単位:%



◇【男女別】「終活」をする（したい）理由（n=370：終活実施・実施予定者） 複数選択 単位:%

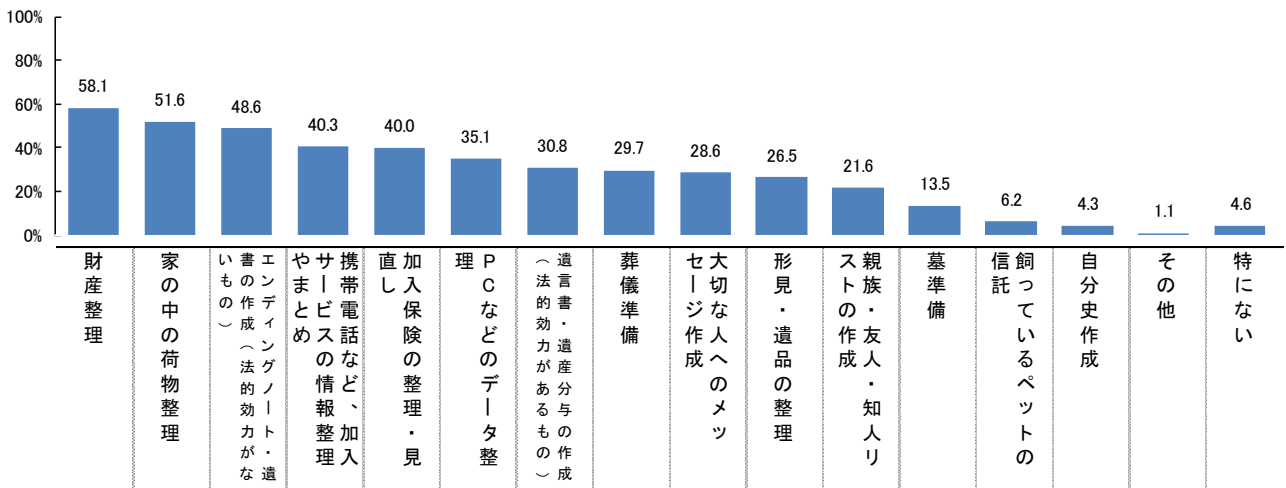


■「終活」準備において半数以上の人「財産整理」を意識

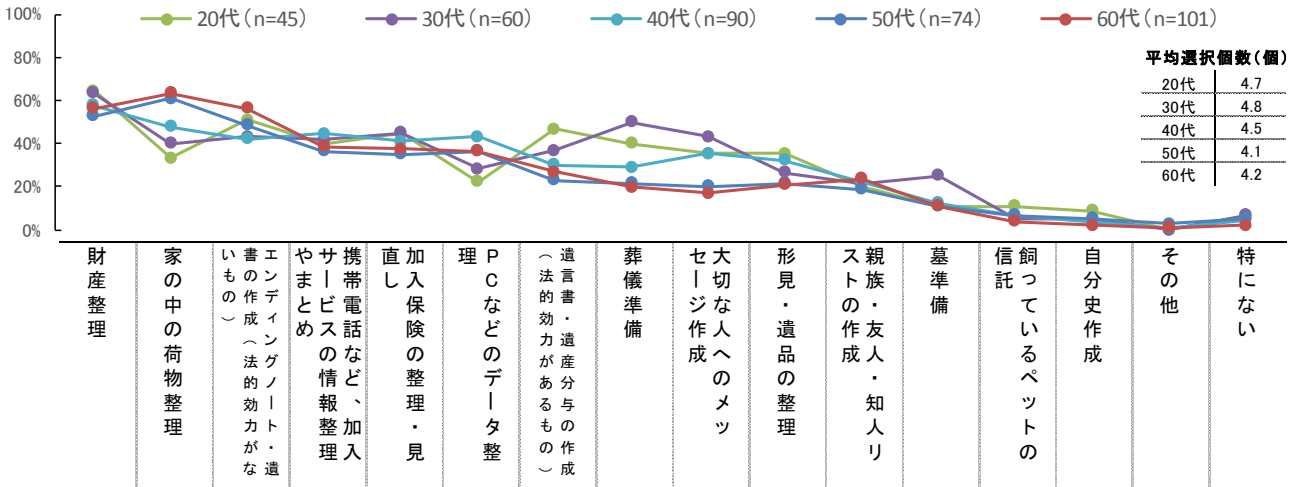
終活実施者および実施予定者に、「終活」においてどのようなことを準備しておきたいかを聞いたところ、「財産整理」が58.1%と最も高く、「家の中の荷物整理」(51.6%)、「エンディングノート・遺書の作成（法的効力はないが、意思を伝えられるものの作成）」(48.6%)が続いた。

また、年代別に見ると、20代では「遺言書・遺産分与の作成」(46.7%)と「形見・遺品の整理」(35.6%)など、30代では「葬儀準備」(50.0%)と「大切な人へのメッセージ作成」(43.3%)、40代では「PCなどのデータ整理」(43.3%)、50代、60代では「家の中の荷物整理」(50代：60.8%、60代：63.4%)が他の年代に比べてやや高いことが分かった。

◇「終活」において、しておきたいこと（n=370：終活実施・実施予定者） 複数選択 単位:%



◇【年代別】「終活」において、しておきたいこと 複数選択 単位:%

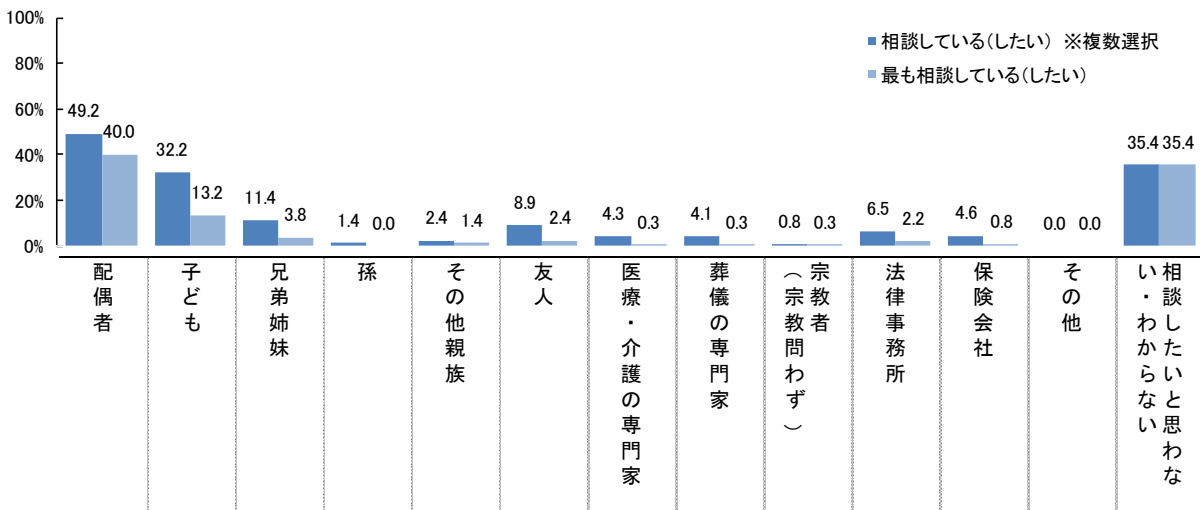


■「終活」の相談および内容を共有する相手は「配偶者」が最も高い結果に

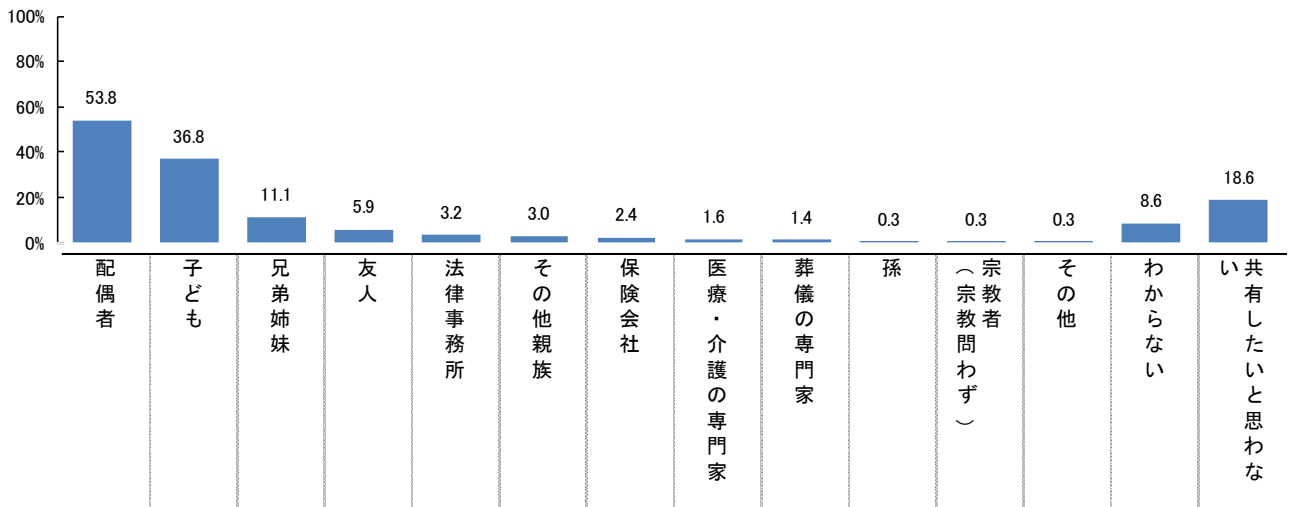
終活実施者および実施予定者に、「終活」について「相談している(したい)人」と「最も相談している(したい)人」について聞いたところ、どちらも「配偶者」(相談:49.2%、最も相談40.0%)が最も高く、続いて「子ども」(相談:32.2%、最も相談13.2%)、「兄弟姉妹」(相談:11.4%、最も相談:3.8%)という結果になった。「相談したいと思わない・わからない」の割合も35.4%と高い結果となった。

続いて「終活」の内容について誰と共有している(または、しておきたい)かを聞いたところ、こちらも「配偶者」が53.8%と最も高く、続いて「子ども」(36.8%)、「兄弟姉妹」(11.1%)という結果になり、実際に相談している人と同じ順番となった。

◇「終活」について「相談している(したい)人」と「最も相談している(したい)人」(n=370:終活実施・実施予定者) 単位:%



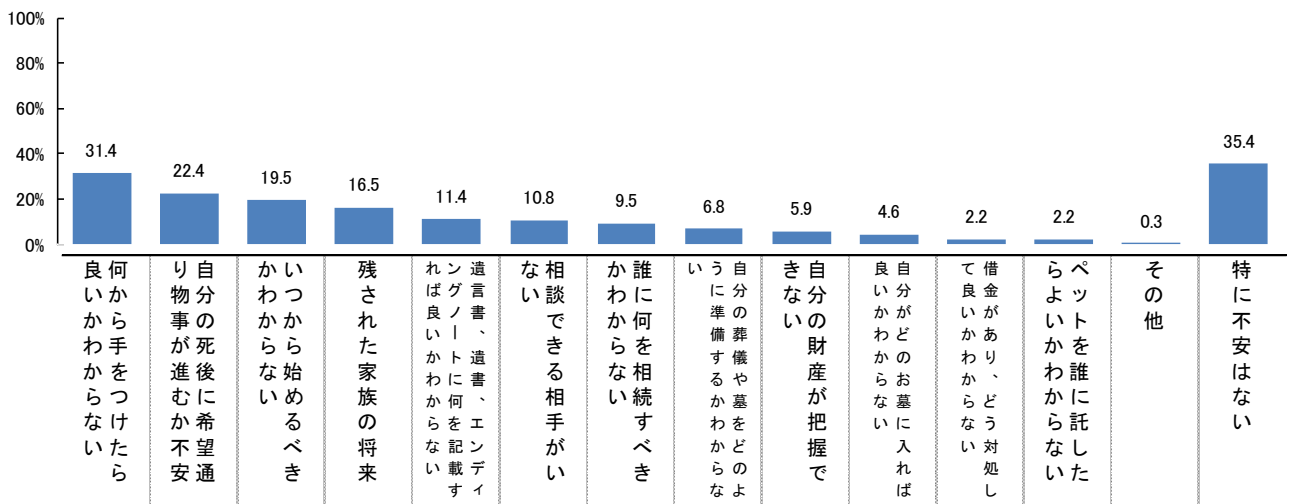
◇「終活」の内容について共有している人 (n=370：終活実施・実施予定者) 複数選択 単位:%



■「終活」に対して「特に不安はない」と考えている人は3割強

終活実施者および実施予定者に、「終活」について不安を感じることを聞いたところ、「特に不安はない」と回答した人が 35.4%と最も高く、「何から手をつけたら良いかわからない」(31.4%)、「自分の死後に希望通り物事が進むか不安」(22.4%)、「いつから始めるべきかわからない」(19.5%)が続いた。

◇「終活」について不安を感じること (n=370：終活実施・実施予定者) 複数選択 単位:%

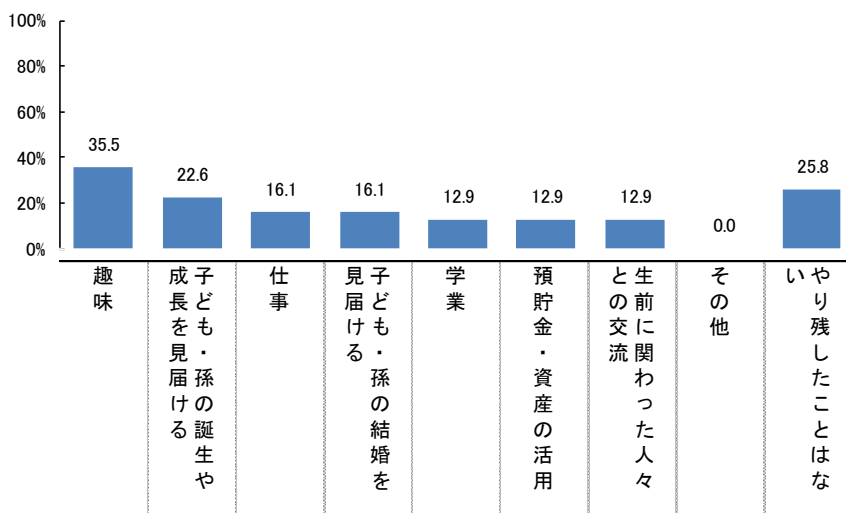


■人生でやり残したことは「趣味」が3割強で最も高い結果に

終活実施者に「終活」を通じて人生でやり残したとを感じるものがあるかを聞いたところ、「趣味」が最も高く、35.5%という結果となり、続いて「子ども・孫の誕生や成長を見届ける」(22.6%)、「仕事」(16.1%)と続いた。「やり残したことはない」と回答した人も 25.8%と高かった。

※nが少ないため参考値

◇人生でやり残したこと (n=31：終活実施者) 複数選択 単位:%



より詳細な調査結果は以下よりご覧いただけます。

<https://research.rakuten.co.jp/report/20180215/>

【調査概要】

調査エリア : 全国

調査対象者 : 20歳～69歳 男女

回収サンプル数 : 1,000 サンプル

調査期間 : 2018年1月19日 から 1月20日

調査実施機関 : 楽天リサーチ株式会社

以上

【お問い合わせ先】

楽天株式会社 広報部 TEL : 050-5817-1104

Email: pr@mail.rakuten.com